

# 稚内市庁舎建設基本構想（案）

---

【資料編】

## V. 資料編

### V. 資料編

#### 1. 稚内市庁舎建設検討委員会の開催概要

##### (1) 稚内市庁舎建設検討委員会委員

(50音順)

氏名	所属	備考
瀬戸口 剛	北海道大学 大学院工学研究	委員長
杉 川 毅	稚内商工会議所	副委員長
相 澤 誠 吾	(株) まちづくり稚内	
川 原 修 子	稚内市連合父母と先生の会	
杉 本 宏	社会福祉法人 稚内市社会福祉協議会	
高 島 正 秀	一般公募	
瀧 勝 彦	稚内市町内会連絡協議会	
田 辺 浩	稚内信用金庫	
爲 安 欣 平	稚内中央商店街振興組合	
波 間 常次郎	(一社) 稚内観光協会	
西 隆 寛	(一社) 稚内青年会議所	
野 村 聡	一般公募	
古 川 裕 治	稚内身体障害者福祉協会	
前 田 義 裕	一般公募	

## V. 資料編

### (2) 稚内市庁舎建設検討委員会 開催概要

回	開催日時	議事
第1回	令和元年11月11日(月) 13:30~14:30	(1) 稚内市庁舎建設検討委員会について (2) これまでの検討経過について (3) 今後のスケジュールについて
第2回	令和2年1月21日(火) 14:00~15:50	(1) 稚内市庁舎建設基本構想(案)について
第3回	令和2年8月20日(木) 13:30~14:30	(1) 稚内市庁舎建設基本構想(案)について

## V. 資料編

### 2. アンケートの結果について

#### (1) 調査概要

調査方法	調査票の郵送によるアンケート方式
対象者	稚内市内にお住まいの18歳以上の方
対象者数	2,000通（住民基本台帳に基づく無作為抽出）
調査期間	令和元年12月6日（発送）～令和元年12月20日
回収票数	617通
回収率	30.9%

#### (2) アンケート結果

##### 1) 回答者の属性(問1、問2、問3、問4の単純集計)

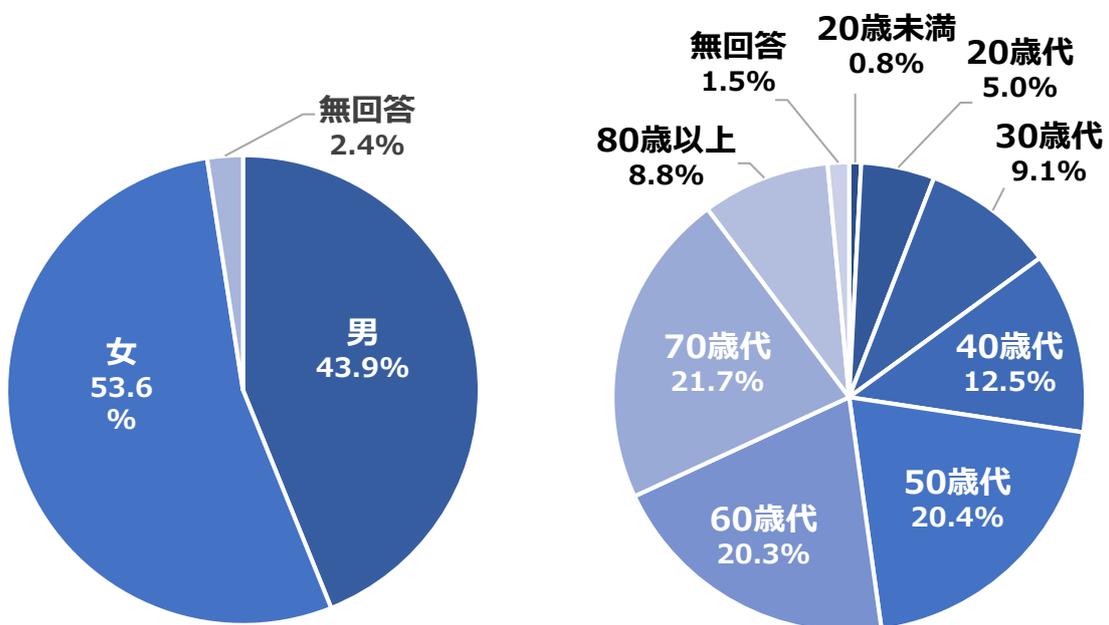
【問1】性別<単一回答>

n=617

n：回答者数（以下同じ）

【問2】年代<単一回答>

n=617



- 回答者は女性が53.6%と過半数を超えています。
- 回答者の年代は、70歳代、50歳代、60歳代の順に多くなっています。

## V. 資料編

【問3】住まい<単一回答>

n=617

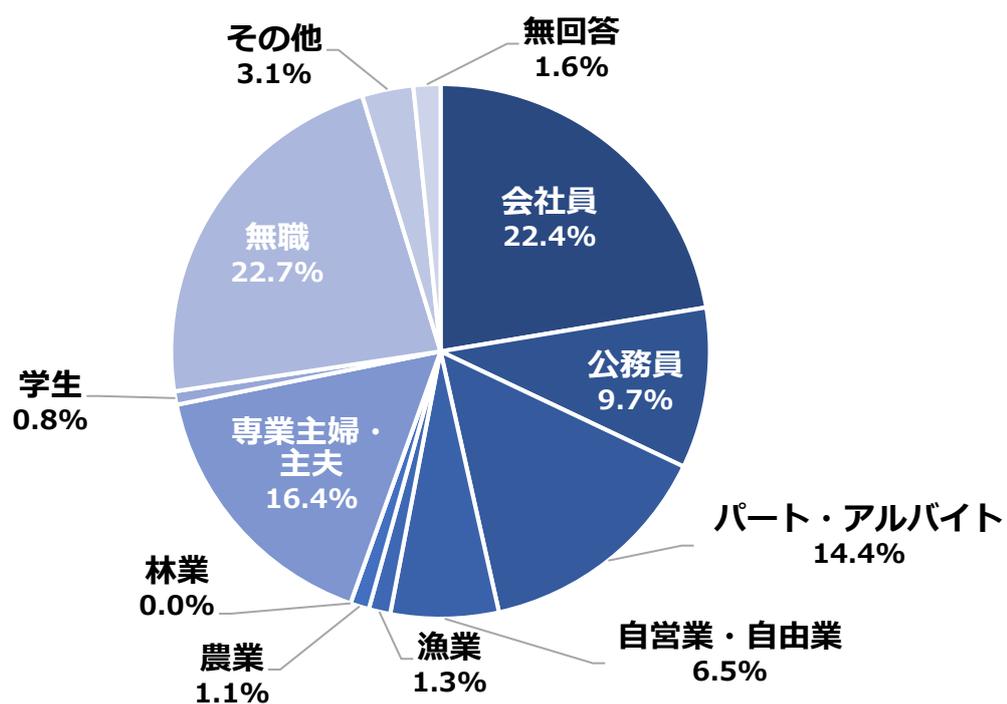
地区名	件数	%
全体	617	100.0
中央	26	4.2
宝来	47	7.6
恵比須	27	4.4
ノシャップ	7	1.1
富士見	9	1.5
港	22	3.6
大黒	18	2.9
潮見	21	3.4
はまなす	12	1.9
緑	92	14.9
こまどり	42	6.8
栄	38	6.2
萩見	56	9.1
未広	19	3.1
開運	0	0.0
新港町	0	0.0
富岡	83	13.5
朝日	33	5.3
若葉台	6	1.0
声問	14	2.3
西浜	1	0.2
恵北	1	0.2
樺岡	0	0.0
沼川	2	0.3

地区名	件数	%
曲淵	2	0.3
川西	0	0.0
川南	0	0.0
開進	0	0.0
上豊別	1	0.2
下豊別	0	0.0
上声問	2	0.3
更喜苫内	1	0.2
天興	1	0.2
曙	2	0.3
抜海	2	0.3
クトネベツ	0	0.0
勇知	1	0.2
上勇知	4	0.6
ユークル	0	0.0
オネトマナイ	0	0.0
宗谷	4	0.6
富磯	2	0.3
上増幌	1	0.2
中増幌	0	0.0
下増幌	0	0.0
第一清浜	1	0.2
第二清浜	0	0.0
宗谷岬	5	0.8
東浦	1	0.2
無回答	11	1.8

## V. 資料編

【問4】職業<単一回答>

n=617

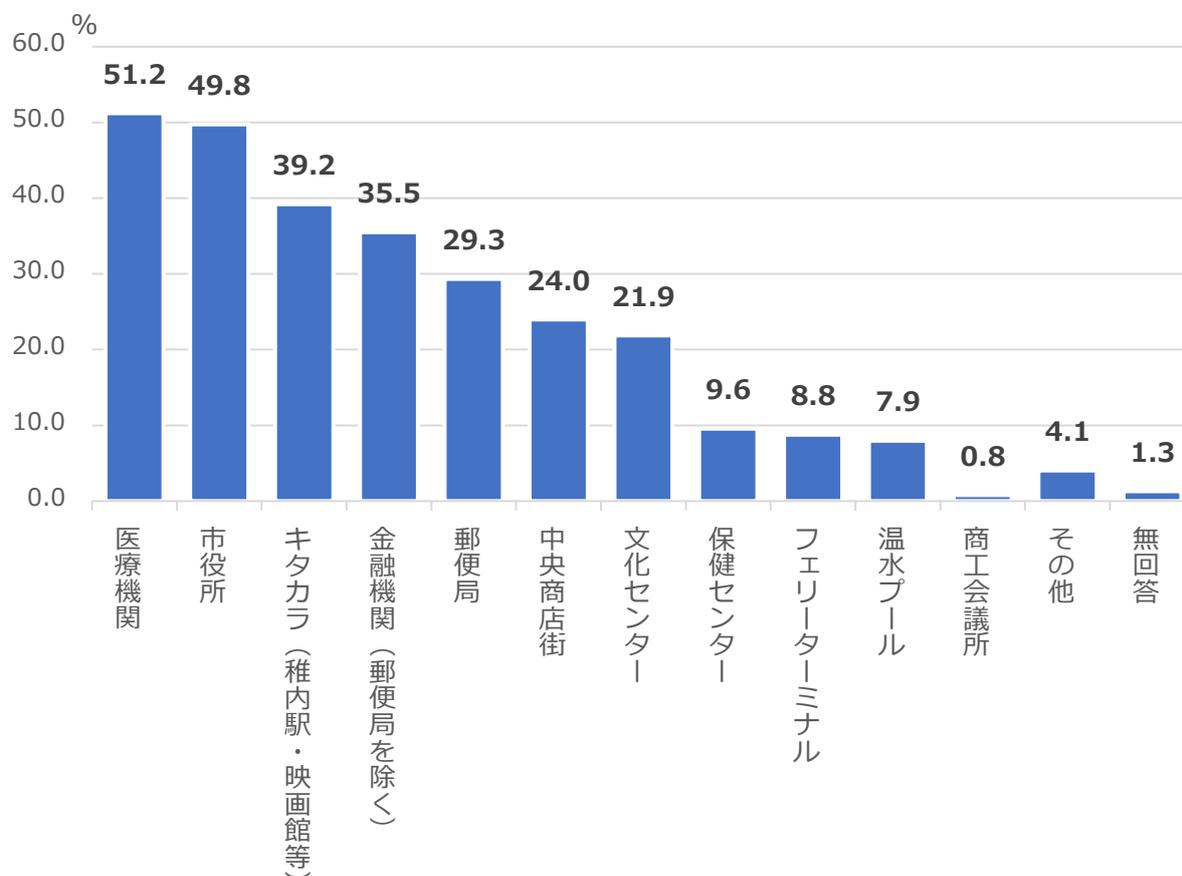


●回答者は無職、会社員、専業主婦・主夫の順に多くなっています。

## V. 資料編

### 2) 中央地区に来る人の目的となる施設

【問 5】 中央地区を訪れた際に、目的となった施設〈複数回答〉 n=617



- 「医療機関」の割合が 51.2%と最も多く、次いで「市役所(49.8%)」「キタカラ(39.2%)」「金融機関(35.5%)」の順となっています。

## V. 資料編

年齢層別に見た、中央地区に来る目的となった主な施設（問2と問5のクロス集計） n=608

	医療機関	市役所	キタカラ	金融機関	郵便局	中央商店街	文化センター	保健センター	ファミリー ターミナル	温水プール	商工会議所	その他	無回答
30歳未満	30.6%	38.9%	63.9%	25.0%	52.8%	27.8%	13.9%	11.1%	13.9%	11.1%	0.0%	13.9%	0.0%
30歳代	44.6%	35.7%	51.8%	25.0%	28.6%	28.6%	17.9%	12.5%	7.1%	25.0%	0.0%	5.4%	0.0%
40歳代	49.4%	36.4%	53.2%	37.7%	28.6%	14.3%	22.1%	5.2%	15.6%	11.7%	0.0%	5.2%	0.0%
50歳代	45.2%	48.4%	37.3%	52.4%	31.7%	26.2%	22.2%	5.6%	11.1%	8.7%	2.4%	5.6%	0.0%
60歳代	51.2%	54.4%	33.6%	37.6%	24.0%	24.0%	22.4%	8.8%	10.4%	6.4%	1.6%	2.4%	1.6%
70歳代	59.0%	61.2%	31.3%	27.6%	25.4%	23.9%	27.6%	14.2%	3.0%	2.2%	0.0%	1.5%	3.0%
80歳以上	66.7%	50.0%	29.6%	25.9%	31.5%	22.2%	18.5%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.7%
平均	51.0%	49.3%	39.5%	35.5%	29.3%	23.7%	22.2%	9.4%	8.6%	8.1%	0.8%	4.1%	1.3%

- 年齢層が低いほど、「キタカラ」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高いほど、「医療機関」「市役所」「文化センター」の回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

0.75倍以上 1.25倍未満

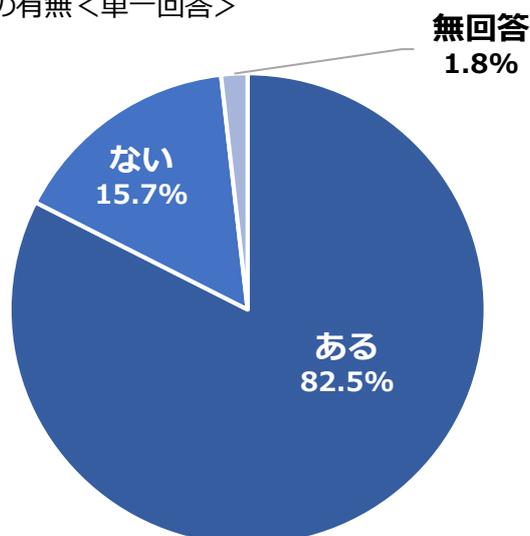
0.5倍以上 0.75倍未満

0.5倍未満

## V. 資料編

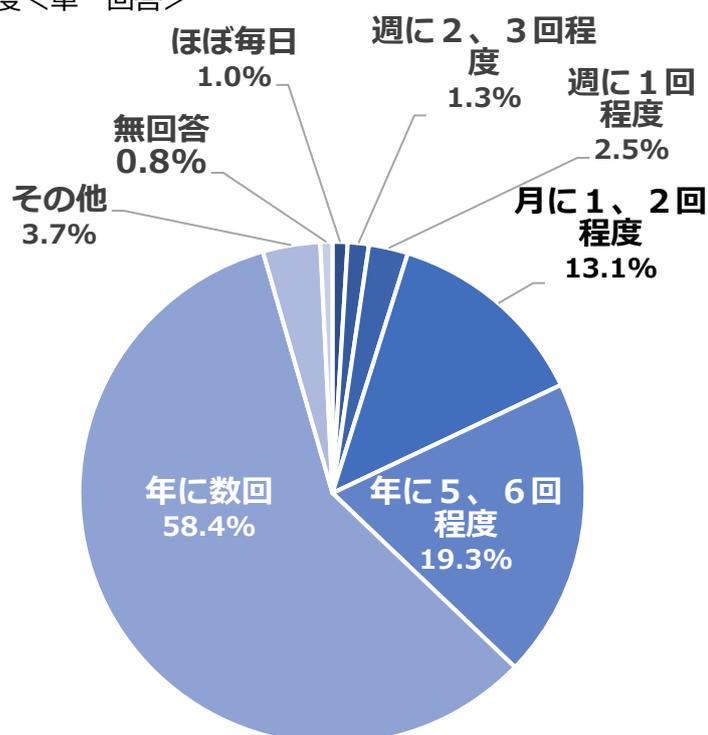
### 3) 市役所の利用状況 (問6、問7の単純集計)

【問6】過去1年以内の利用の有無<単一回答>  
n=617



●8割以上の回答者が、過去1年以内に市役所を訪れています。

【問7】市役所の利用頻度<単一回答>  
n=519



●「年に数回」の割合が58.4%と最も多く、次いで「年に5、6回程度 (19.3%)」、「月に1、2回程度 (13.1%)」の順となっています。

※問7～問11は問6で「ある」と回答した人のみ回答する項目であるが、「ある」と選んでいない人のうち10名が回答しており、そのまま10名のアンケートも含めて集計しているため母数が509ではなく519となっている。

## V. 資料編

年齢層別に見た、市役所を訪れた頻度（問2と問7のクロス集計）n=608

	月に1回以上	年に5、6回程度	年に数回	その他	無回答
30歳未満	11.1%	11.1%	61.1%	2.8%	0.0%
30歳代	12.5%	17.9%	50.0%	3.6%	0.0%
40歳代	14.3%	20.8%	45.5%	3.9%	0.0%
50歳代	17.5%	15.9%	46.0%	3.2%	0.8%
60歳代	17.6%	12.8%	51.2%	3.2%	0.0%
70歳代	14.9%	16.4%	50.7%	2.2%	1.5%
80歳以上	13.0%	18.5%	40.7%	1.9%	1.9%
平均	15.3%	16.1%	48.8%	3.0%	0.7%

●年齢層が低いほど、「年に数回」の回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

0.75倍以上 1.25倍未満

0.5倍以上 0.75倍未満

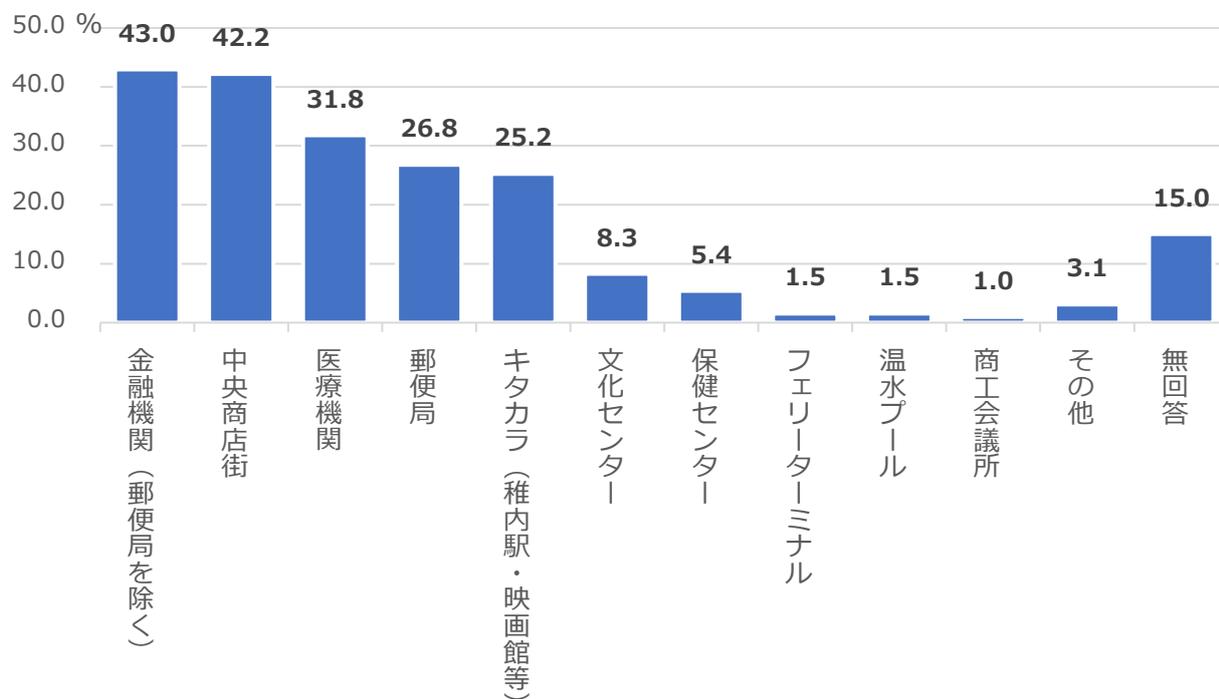
0.5倍未満

## V. 資料編

【問 8】 市役所を訪れた際に立ち寄った主な施設<複数回答>

n=519

※3 項目までの選択のところ一部の回答に 4 項目以上の選択あり



- 「金融機関」の割合が 43.0%と最も多く、次いで「中央商店街(42.2%)」「医療機関(31.8%)」「郵便局(26.8%)」「キタカラ (26.8%)」の順となっています。

## V. 資料編

年齢層別に見た、市役所を訪れた際に立ち寄った主な施設（問2と問8のクロス集計）n=608

	金融機関	中央商店街	医療機関	郵便局	キタカラ	文化センター	保健センター	ファミリーミナール	温水プール	商工会議所	その他	無回答
30歳未満	36.1%	2.8%	16.7%	44.4%	25.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%
30歳代	30.4%	41.1%	10.7%	23.2%	23.2%	3.6%	1.8%	1.8%	5.4%	0.0%	1.8%	16.1%
40歳代	32.5%	28.6%	26.0%	19.5%	14.3%	3.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	5.2%	16.9%
50歳代	46.8%	31.0%	23.0%	30.2%	13.5%	5.6%	1.6%	2.4%	1.6%	0.0%	1.6%	16.7%
60歳代	37.6%	38.4%	28.0%	16.8%	16.8%	10.4%	2.4%	0.0%	0.8%	1.6%	1.6%	12.0%
70歳代	32.1%	44.8%	31.3%	17.9%	29.9%	9.0%	9.0%	1.5%	0.7%	1.5%	2.2%	10.4%
80歳以上	25.9%	40.7%	40.7%	18.5%	31.5%	9.3%	13.0%	1.9%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%
平均	35.9%	35.4%	26.3%	22.5%	21.1%	7.1%	4.4%	1.2%	1.3%	0.7%	2.6%	12.5%

- 年齢層が高いほど、「医療機関」「文化センター」「保健センター」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 「キタカラ」については30歳代未満と70歳代以上で回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

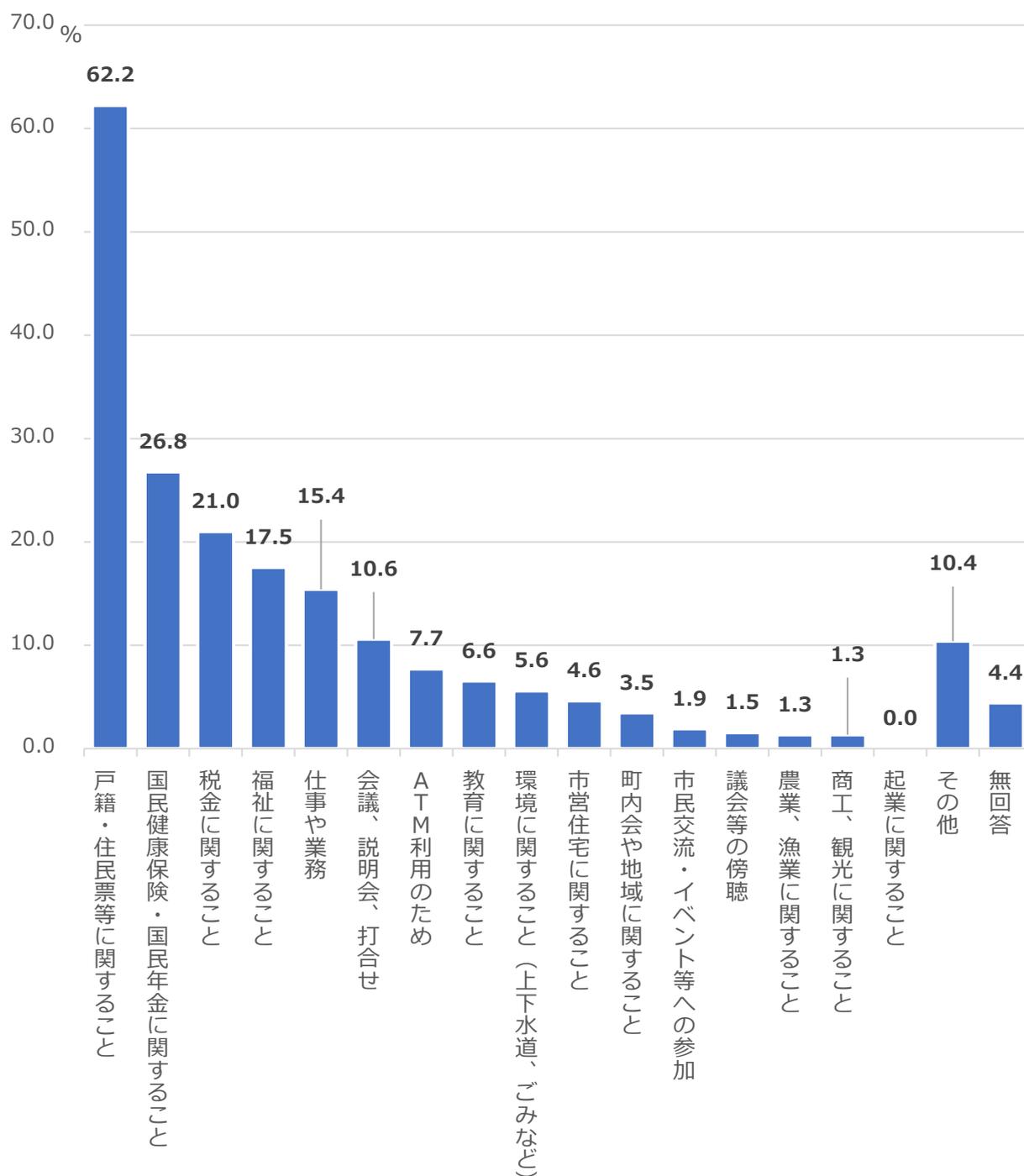
0.75倍以上 1.25倍未満

0.5倍以上 0.75倍未満

0.5倍未満

## V. 資料編

【問 9】市役所を訪れた用件〈複数回答〉n=519



- 「戸籍・住民票等に関すること」が62.2%で顕著に高く、次いで「国民健康保険・国民年金に関すること(26.8%)」「税金に関すること(21.0%)」「福祉に関すること(17.5%)」「仕事や業務(15.4%)」の順となっています。
- 「起業に関すること」を選択した回答者はいませんでした。

## V. 資料編

年齢層別に見た、市役所を訪れた用件（問2と問9のクロス集計）n=608

	戸籍・住民票等に関すること	国民健康保険・国民年金に関すること	税金に関すること	福祉に関すること	仕事や業務	会議、説明会、打合せ	ATM利用のため	教育に関すること	環境に関すること（下水道、ごみなど）	市営住宅に関すること	町内会や地域に関すること	市民交流・イベント等への参加	議会等の傍聴	農業、漁業に関すること	商工、観光に関すること	起業に関すること	その他	無回答
30歳未満	↑66.7%	5.6%	8.3%	0.0%	13.9%	2.8%	2.8%	↑13.9%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代	57.1%	14.3%	7.1%	5.4%	14.3%	10.7%	5.4%	16.1%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	17.9%	0.0%
40歳代	51.9%	7.8%	10.4%	14.3%	16.9%	5.2%	5.2%	13.0%	3.9%	0.0%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	1.3%
50歳代	64.3%	12.7%	15.9%	11.9%	23.0%	10.3%	7.1%	2.4%	1.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	1.6%	0.0%	5.6%	1.6%
60歳代	52.0%	26.4%	30.4%	16.0%	12.8%	16.0%	6.4%	3.2%	8.8%	7.2%	4.0%	2.4%	1.6%	0.8%	2.4%	0.0%	8.0%	1.6%
70歳代	46.3%	39.6%	20.1%	21.6%	6.7%	5.2%	8.2%	0.7%	3.7%	6.0%	6.0%	1.5%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	8.2%	6.0%
80歳以上	29.6%	↓37.0%	14.8%	↓24.1%	0.0%	7.4%	5.6%	3.7%	↓11.1%	↓5.6%	↓7.4%	3.7%	↓7.4%	1.9%	1.9%	0.0%	1.9%	7.4%
平均	52.6%	22.7%	17.8%	15.0%	13.2%	9.0%	6.4%	5.6%	4.8%	3.9%	3.0%	1.6%	1.3%	1.2%	1.2%	0.0%	8.9%	2.8%

- 年齢層が低くなるほど、「戸籍・住民票等に関すること」「教育に関すること」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高くなるほど、「国民健康保険・国民年金に関すること」「福祉に関すること」「環境に関すること」「市営住宅に関すること」「町内会や地域に関すること」「議会等の傍聴」の回答率が高い傾向を示します。

凡例	
※平均に対する各回答率の割合	
1.5倍以上	
1.25倍以上 1.5倍未満	
0.75倍以上 1.25倍未満	
0.5倍以上 0.75倍未満	
0.5倍未満	

## V. 資料編

頻度別に見た、市役所を訪れた件数（問7と問9のクロス集計） n=496

	戸籍・住民票等に関する事 件	国民健康保険・国民年金に 関すること	税金に関する事 件	福祉に関する事 件	仕事や業務	会議、説明会、打合せ	A T M利用のため	教育に関する事 件	環境に関する事(上下水 道、ごみなど)	市営住宅に関する事 件	町内会や地域に関する事 件	市民交流・イベント等への参 加	議会等の傍聴	農業、漁業に関する事 件	商工、観光に関する事 件	起業に関する事 件	その他	無回答
月に 1回以上	20.7%	10.1%	9.3%	8.0%	16.5%	9.3%	4.6%	3.4%	3.8%	3.0%	3.4%	1.7%	0.8%	0.0%	1.7%	0.0%	2.5%	1.3%
年に5、 6回程度	27.3%	14.7%	12.6%	8.4%	6.7%	7.1%	5.0%	3.4%	2.5%	1.7%	2.1%	0.8%	0.8%	1.3%	0.4%	0.0%	4.2%	0.8%
年に数回	36.3%	13.9%	10.1%	9.3%	4.6%	2.9%	3.1%	3.3%	2.6%	2.2%	0.9%	0.7%	0.7%	0.5%	0.4%	0.0%	5.5%	2.9%
平均	30.6%	13.2%	10.5%	8.8%	7.8%	5.4%	3.9%	3.3%	2.8%	2.3%	1.8%	1.0%	0.8%	0.6%	0.7%	0.0%	4.5%	2.1%

- 頻度が高くなるにつれて、「仕事や業務」「会議、説明会、打合せ」「町内会や地域に関する事」「市民交流・イベント等への参加」「農業・漁業に関する事」の回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

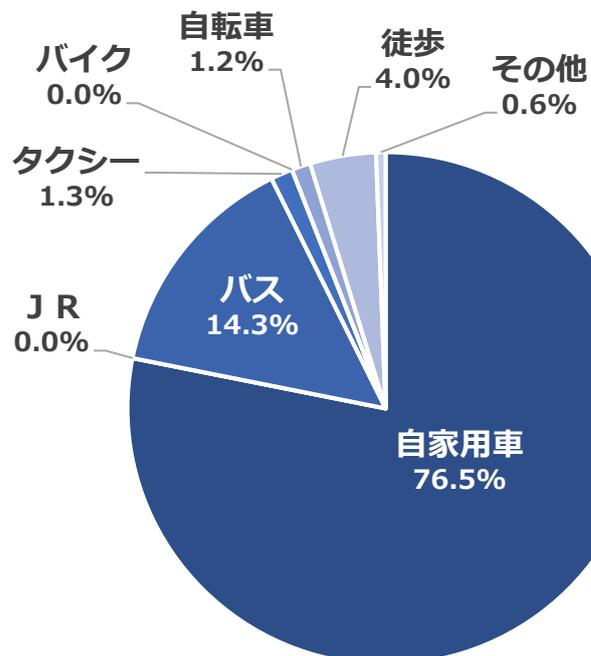
0.75倍以上 1.25倍未満

0.5倍以上 0.75倍未満

0.5倍未満

## V. 資料編

【問 10】 市役所を訪れる際に利用した交通手段〈単一回答〉 n=519



- 自家用車で市役所を訪れる人が 76.5% と大半を占め、次いでバスが 14% となっています。
- 対して JR・バイクで市役所を訪れる人は 0 人でした。

## V. 資料編

年齢層別に見た、市役所を訪れる際に利用した交通手段

(問 2 と問 10 のクロス集計) n=608

	自家用車	バス	徒歩	タクシー	自転車	J R	バイク	その他	無回答
30 歳未満	80.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30 歳代	71.4%	3.6%	5.4%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40 歳代	71.4%	2.6%	7.8%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
50 歳代	76.2%	2.4%	2.4%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%
60 歳代	69.6%	8.8%	2.4%	1.6%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%
70 歳代	56.7%	22.4%	3.0%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
80 歳以上	20.4%	44.4%	3.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
平均	64.8%	12.2%	3.5%	1.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%	2.1%

- 年齢層が低いほど、「自家用車」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高いほど、「バス」の回答率が高くなる傾向を示します。  
特に 70 歳代、80 歳代の回答率が顕著に高くなっています。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5 倍以上

1.25 倍以上 1.5 倍未満

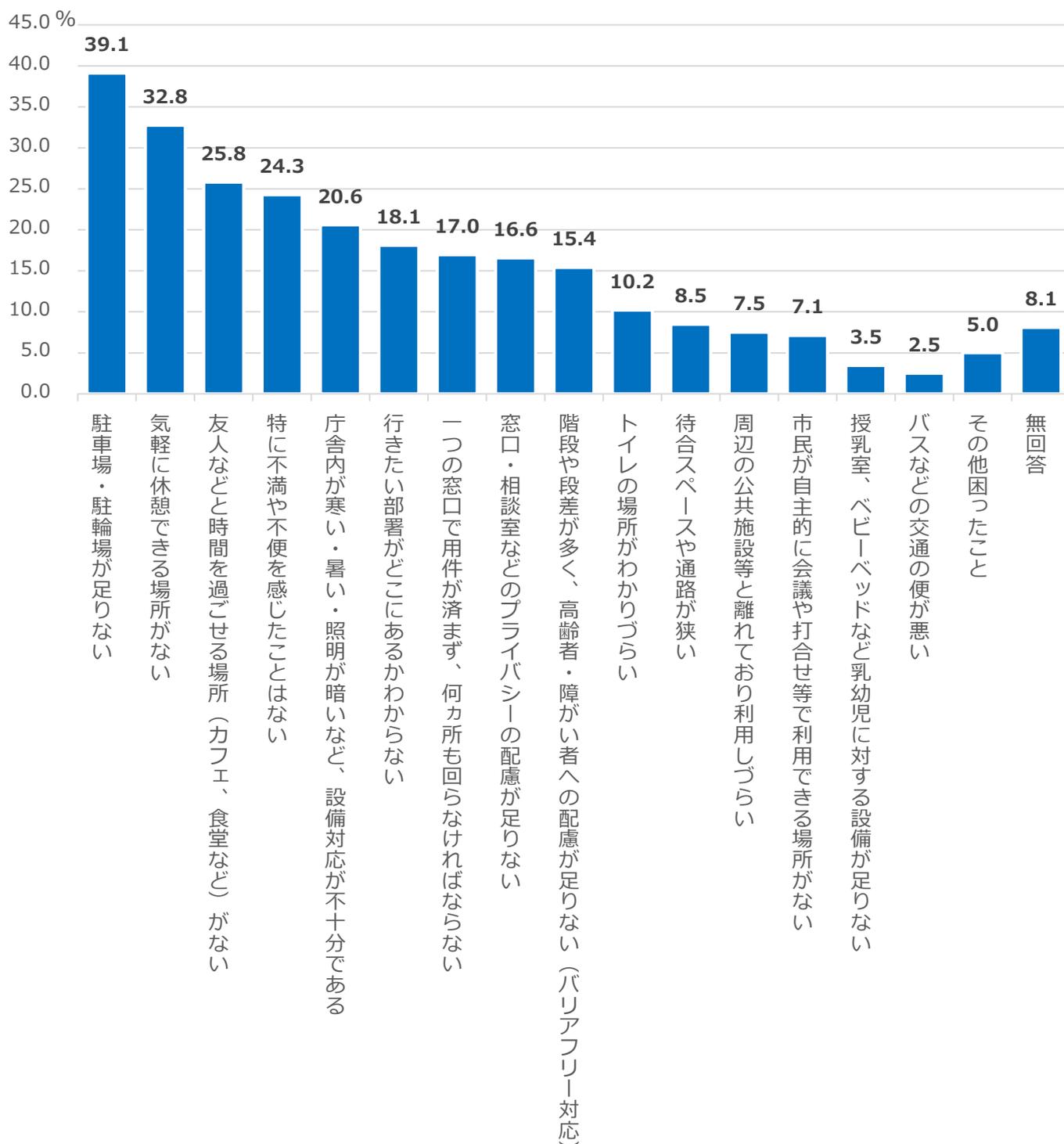
0.75 倍以上 1.25 倍未満

0.5 倍以上 0.75 倍未満

0.5 倍未満

## V. 資料編

【問 11】 市役所を訪れた際に、不満・不便に感じたこと<複数回答> n=519



- 「駐車場・駐輪場が足りない」が 39.1%で最も多く、次いで「気軽に休憩できる場所がない(32.8%)」「友人などと時間を過ごせる場所がない(25.8%)」「特に不満や不便を感じたことはない(24.3%)」「庁舎内が寒い・暑い・照明が暗いなど、設備対応が不十分である(20.6%)」の順となっています。
- 「周辺の公共施設等と離れており利用しづらい」「バスなどの交通の便が悪い」等、立地に関する回答率は低くなっています。

## V. 資料編

年齢層別に見た、市役所を訪れる際に不満・不便に感じたこと（問2と問11のクロス集計）n=608

	い 駐車場・駐輪場が足りな い	気 軽に休憩できる場所が ない	友 人などと時間を過ごせ る場所（カフェ、食堂な ど） がない	特 に不満や不便を感じた ことはない	庁 舎内が寒い・暑い・照 明が暗いなど、設備対応 が不十分である	行 きたい部署がどこにあ るか わからない	一 つの窓口で用件が済ま ず、何カ所も回らなけれ ば ならない	窓 口・相談室などの プライバシーの配慮が足 り ない	階 段や段差が多く、高齢者・ 障がい者への配慮が足りない （バリアフリー対応）	ト イレの場所がわかりづ ら い	待 合スペースや通路が狭 い	周 辺の公共施設等と離れ て おり利用しづらい	市 民が自主的に会議や打 合 せ等で利用できる場所 が ない	授 乳室、ベビーベッドな ど乳幼児に対する設備が 足 りない	バ スなどの交通の便が悪 い	そ の他困ったこと	無 回答
30歳未満	36.1%	19.4%	22.2%	11.1%	25.0%	22.2%	11.1%	8.3%	8.3%	5.6%	8.3%	11.1%	5.6%	2.8%	2.8%	2.8%	8.3%
30歳代	32.1%	26.8%	17.9%	12.5%	21.4%	30.4%	10.7%	16.1%	8.9%	12.5%	8.9%	7.1%	1.8%	8.9%	0.0%	8.9%	7.1%
40歳代	35.1%	24.7%	18.2%	18.2%	24.7%	13.0%	13.0%	15.6%	13.0%	3.9%	6.5%	2.6%	5.2%	5.2%	2.6%	5.2%	3.9%
50歳代	36.5%	23.8%	17.5%	18.3%	15.1%	7.9%	13.5%	6.3%	13.5%	2.4%	4.8%	5.6%	4.8%	2.4%	0.8%	4.8%	3.2%
60歳代	36.8%	36.0%	21.6%	17.6%	17.6%	14.4%	18.4%	24.0%	15.2%	11.2%	9.6%	8.8%	8.0%	3.2%	1.6%	2.4%	3.2%
70歳代	29.1%	29.1%	31.3%	25.4%	14.2%	16.4%	16.4%	15.7%	14.2%	11.2%	6.0%	6.0%	6.0%	0.7%	3.0%	4.5%	9.7%
80歳以上	22.2%	25.9%	18.5%	38.9%	13.0%	16.7%	9.3%	5.6%	13.0%	16.7%	9.3%	3.7%	11.1%	0.0%	3.7%	1.9%	9.3%
平均	33.1%	27.8%	21.9%	20.6%	17.6%	15.5%	14.3%	14.1%	13.2%	8.7%	7.2%	6.3%	6.1%	3.0%	2.0%	4.3%	5.9%

- 年齢層が低いほど、「庁舎内が寒い・暑い・照明が暗いなど、設備対応が不十分である」「行きたい部署がどこにあるかわからない」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高いほど、「特に不満や不便を感じたことはない」の回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

0.75倍以上 1.25倍未満

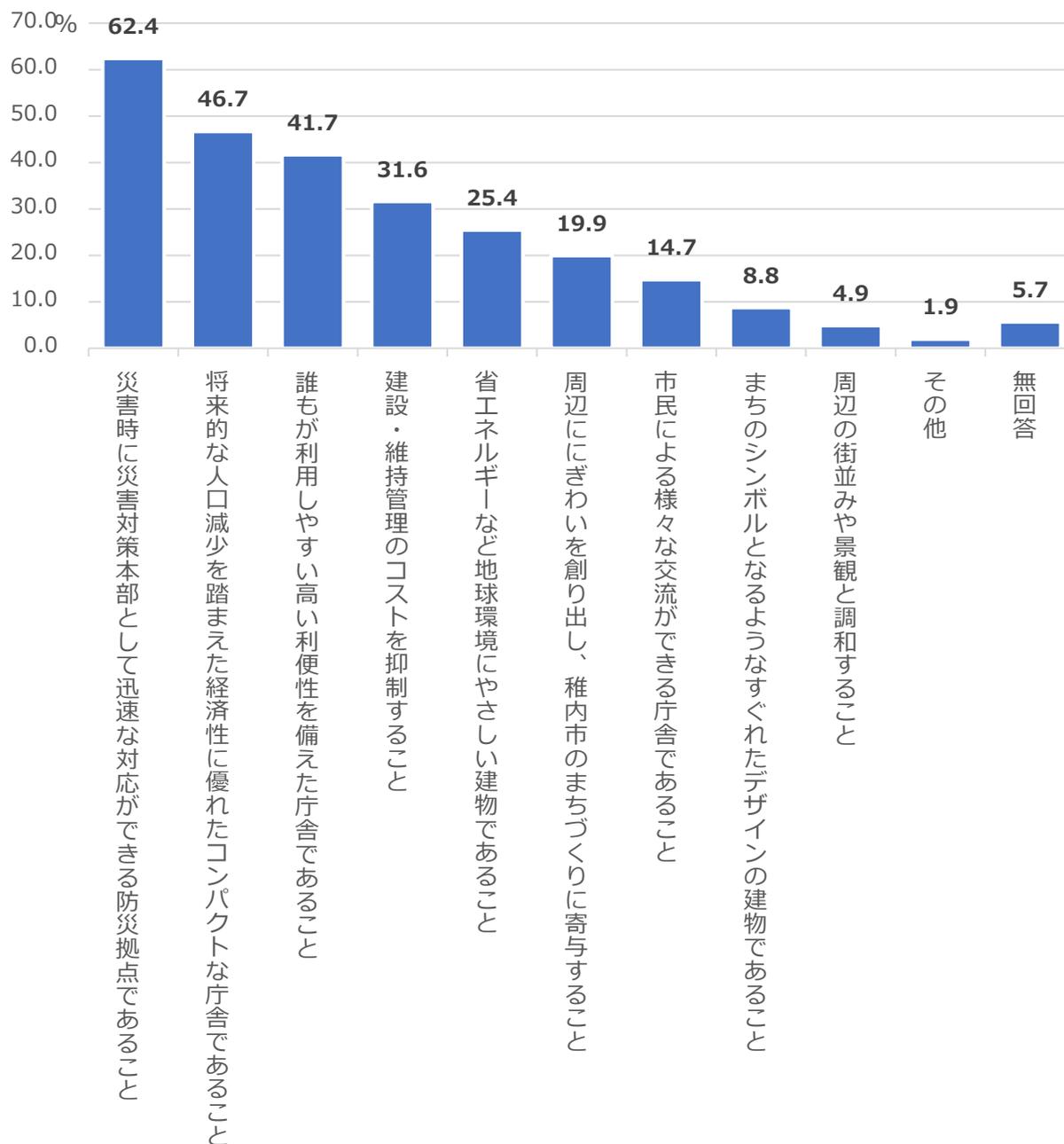
0.5倍以上 0.75倍未満

0.5倍未満

## V. 資料編

【問 12】 庁舎整備にあたり重要視する位置づけ・役割〈複数回答〉 n=617

※3 項目までの選択のところ一部の回答に 4 項目以上の選択あり



- 「災害時に災害対策本部として迅速な対応ができる防災拠点であること」が 62.4%と最も多く、次いで「将来的な人口減少を踏まえた経済性に優れたコンパクトな庁舎であること(46.7%)」「誰もが利用しやすい高い利便性を備えた庁舎であること(41.7%)」「建設・維持管理のコストを抑制すること(31.6%)」の順となっています。
- 「周辺の街並みや景観と調和すること (4.9%)」、「まちのシンボルとなるようなすぐれたデザインの建物であること(8.8%)」等建物の外観に関する回答率は低くなっています。

## V. 資料編

年齢層別に見た、庁舎整備にあたり重要視する位置づけ・役割

(問2と問12のクロス集計) n=608

	災害時に災害対策本部として迅速な対応ができる防災拠点であること	将来的な人口減少を踏まえた経済性に優れたコンパクトな庁舎であること	誰もが利用しやすい高い利便性を備えた庁舎であること	建設・維持管理のコストを抑制すること	省エネルギーなど地球環境にやさしい建物であること	周辺ににぎわいを創り出し、稚内市のまちづくりに寄与すること	市民による様々な交流ができる庁舎であること	まちのシンボルとなるようなすぐれたデザインの建物であること	周辺の街並みや景観と調和すること	その他	無回答
30歳未満	44.4%	25.0%	44.4%	19.4%	13.9%	38.9%	16.7%	22.2%	5.6%	2.8%	2.8%
30歳代	71.4%	23.2%	53.6%	23.2%	21.4%	26.8%	21.4%	10.7%	3.6%	0.0%	7.1%
40歳代	72.7%	51.9%	42.9%	32.5%	26.0%	23.4%	13.0%	6.5%	1.3%	1.3%	2.6%
50歳代	72.2%	40.5%	53.2%	30.2%	17.5%	22.2%	15.1%	9.5%	5.6%	1.6%	3.2%
60歳代	52.0%	52.0%	39.2%	37.6%	35.2%	14.4%	12.8%	4.8%	3.2%	2.4%	5.6%
70歳代	59.7%	59.7%	31.3%	36.6%	31.3%	15.7%	14.9%	5.2%	9.0%	3.7%	6.7%
80歳以上	55.6%	44.4%	29.6%	20.4%	16.7%	13.0%	13.0%	14.8%	1.9%	0.0%	14.8%
平均	62.2%	46.4%	41.6%	31.3%	25.3%	19.9%	14.8%	8.6%	4.8%	2.0%	5.8%

- 年齢層が低いほど、「周辺ににぎわいを創り出し、稚内市のまちづくりに寄与すること」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高いほど、「将来的な人口減少を踏まえた経済性に優れたコンパクトな庁舎であること」の回答率が高くなる傾向を示します。

### 凡例

※平均に対する各回答率の割合

1.5倍以上

1.25倍以上 1.5倍未満

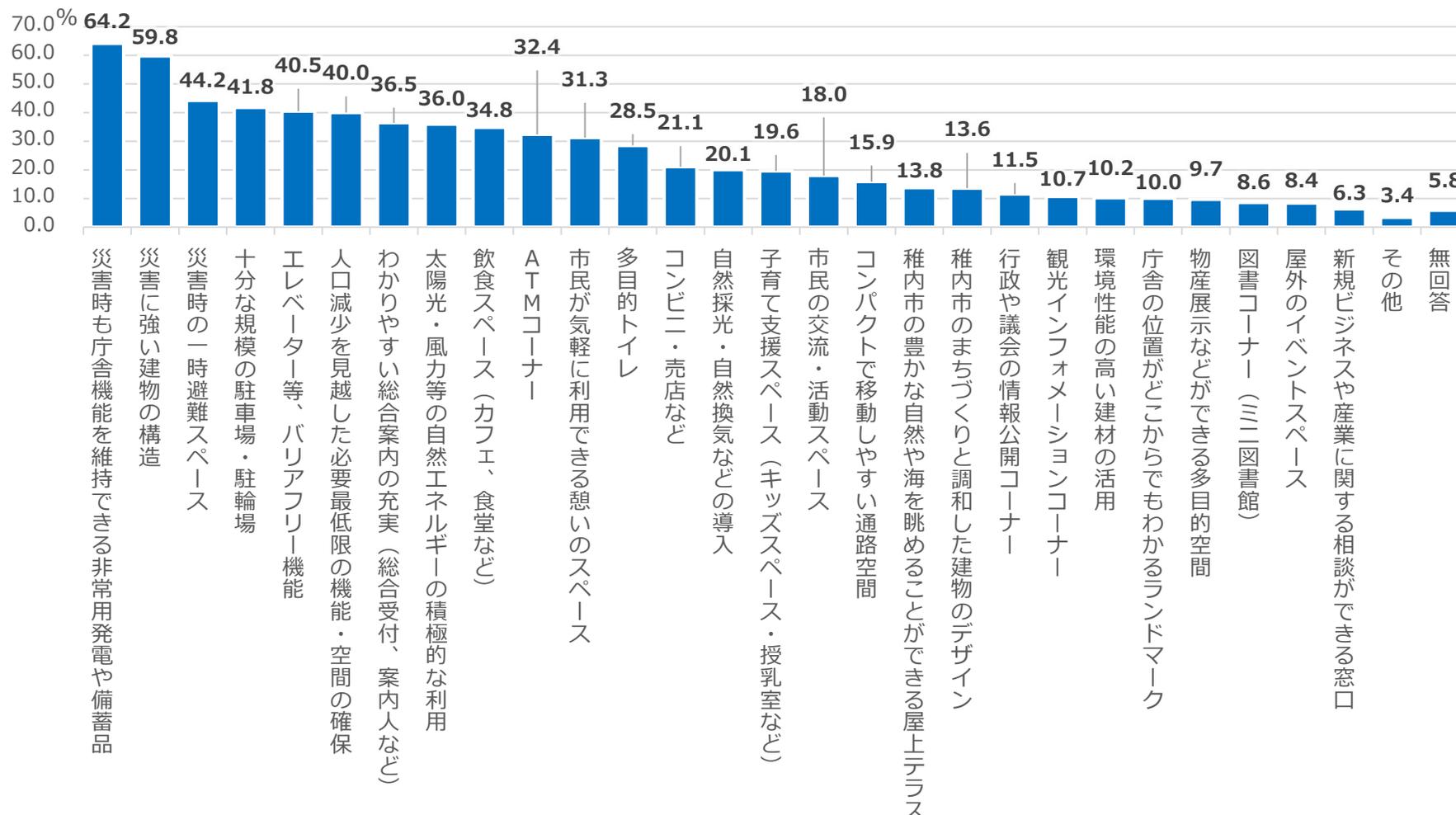
0.75倍以上 1.25倍未満

0.5倍以上 0.75倍未満

0.5倍未満

## V. 資料編

【問 13】 庁舎整備にあたり加えたい機能 n=617 ※10 項目までの選択のところ一部の回答に 11 項目以上の選択あり



- 「災害時も庁舎機能を維持できる非常用発電や備蓄品」が 64.2%と最も多く、次いで「災害に強い建物の構造(46.7%)」「誰もが利用しやすい高い利便性を備えた庁舎であること(59.8%)」「災害時の一時避難スペース(44.2%)」の順となっており、災害時の防災拠点としての機能が上位 3 位を占めています。

V. 資料編

年齢層別に見た、庁舎整備にあたり加えたい機能（問2と問13のクロス集計）n=608

	電や備蓄品 災害時も庁舎機能を 維持できる非常用発 電	災害に強い建物の構 造	災害時の一時避難ス ペース	十分な規模の駐車 場・駐輪場	エレベーター等、バ リアフリー機能	人口減少を見越した 必要最低限の機能・ 空間の確保	わかりやすい総合案 内の充実（総合受 付、案内人など）	太陽光・風力等の自 然エネルギーの積極 的な利用	飲食スペース（カフ エ、食堂など）	ATMコーナー	市民が気軽に利用で きる憩いのスペース	多目的トイレ	コンビニ・売店など	自然採光・自然換気 などの導入	子育て支援スペース （キッズスペース・ 授乳室など）
30歳未満	50.0%	50.0%	38.9%	44.4%	38.9%	22.2%	25.0%	22.2%	38.9%	27.8%	30.6%	16.7%	38.9%	19.4%	41.7%
30歳代	64.3%	57.1%	51.8%	44.6%	33.9%	21.4%	35.7%	32.1%	50.0%	39.3%	30.4%	32.1%	35.7%	14.3%	41.1%
40歳代	74.0%	67.5%	44.2%	46.8%	45.5%	35.1%	39.0%	35.1%	42.9%	46.8%	32.5%	35.1%	35.1%	10.4%	26.0%
50歳代	65.9%	68.3%	52.4%	51.6%	35.7%	27.0%	31.0%	33.3%	34.9%	37.3%	30.2%	25.4%	27.0%	13.5%	18.3%
60歳代	61.6%	52.0%	40.0%	43.2%	40.0%	50.4%	37.6%	42.4%	29.6%	29.6%	33.6%	31.2%	16.0%	29.6%	18.4%
70歳代	67.2%	60.4%	43.3%	35.1%	43.3%	55.2%	40.3%	41.8%	31.3%	26.9%	29.1%	29.1%	9.0%	23.9%	7.5%
80歳以上	51.9%	53.7%	35.2%	22.2%	44.4%	44.4%	46.3%	27.8%	27.8%	14.8%	35.2%	24.1%	3.7%	18.5%	9.3%
平均	64.0%	59.7%	44.4%	41.9%	40.3%	39.8%	36.8%	36.0%	35.0%	32.2%	31.4%	28.6%	21.2%	19.6%	19.6%
	市民の交流・活動ス ペース	コンパクトで移動し やすい通路空間	稚内市の豊かな自然 や海を眺めることが できる屋上テラス	稚内市のまちづくり と調和した建物のデ ザイン	行政や議会の情報公 開コーナー	観光インフォメーシ ョンコーナー	環境性能の高い建材 の活用	物産展示などができ る多目的空間	庁舎の位置がどこか らでもわかるランド マーク	屋外のイベントスベ ース	図書コーナー（ミニ 図書館）	新規ビジネスや産業 に関する相談ができ る窓口	その他	無回答	
30歳未満	19.4%	13.9%	8.3%	36.1%	5.6%	2.8%	16.7%	11.1%	8.3%	13.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	
30歳代	17.9%	14.3%	16.1%	8.9%	5.4%	16.1%	5.4%	10.7%	3.6%	14.3%	17.9%	7.1%	5.4%	5.4%	
40歳代	15.6%	14.3%	7.8%	6.5%	5.2%	13.0%	11.7%	7.8%	3.9%	14.3%	6.5%	3.9%	3.9%	2.6%	
50歳代	18.3%	17.5%	11.9%	16.7%	10.3%	11.9%	9.5%	11.9%	6.3%	7.9%	8.7%	7.1%	3.2%	4.0%	
60歳代	22.4%	14.4%	13.6%	8.8%	18.4%	13.6%	7.2%	12.0%	9.6%	8.0%	4.8%	6.4%	4.0%	5.6%	
70歳代	16.4%	17.9%	14.2%	14.9%	12.7%	7.5%	11.2%	5.2%	12.7%	4.5%	7.5%	5.2%	3.7%	7.5%	
80歳以上	14.8%	13.0%	25.9%	13.0%	14.8%	7.4%	13.0%	13.0%	24.1%	3.7%	13.0%	9.3%	1.9%	16.7%	
平均	18.1%	15.6%	13.7%	13.5%	11.5%	10.9%	10.0%	9.9%	9.5%	8.6%	8.4%	6.3%	3.5%	5.9%	

- 年齢層が低いほど、「コンビニ・売店など」「子育て支援スペース（キッズスペース・授乳室など）」の回答率が高くなる傾向を示します。
- 年齢層が高いほど、「人口減少を見越した必要最低限の機能・空間の確保」「わかりやすい総合案内の充実」の回答率が高くなる傾向を示します。

凡例
※平均に対する各回答率の割合
1.5倍以上
1.25倍以上 1.5倍未満
0.75倍以上 1.25倍未満
0.5倍以上 0.75倍未満
0.5倍未満

## V. 資料編

### 【問 14】自由記述

自由記述に関しては、617 件中、198 件の意見が寄せられました。

『建物に関する意見』が 124 件、『建物内の施設・機能に関する意見』が 93 件、『立地に関する意見』が 45 件、『計画全般に対する意見』が 49 件などとなっています。

建物に関しては「防災性への配慮した建物」や「コンパクトな建物」、施設・機能に関しては「立ち寄りたくなる機能（飲食・くつろぎなど）」や「まちの活性化に寄与するような機能」、立地に関しては「現在の位置・中央地区」、「防災・安全性に配慮した立地」、計画全般に関しては「まちの将来像を見据えた計画とすること」や「建替は不要ではないか」といった意見が寄せられました。

## V. 資料編

項目	件数	内容	件数
建物に関する意見	124	防災性に配慮した建物	30
		コンパクトな建物	22
		建設・ランニングコストを削減した建物	18
		明るさ・開放感のある建物	12
		デザイン性や素材感に配慮した建物	11
		市のシンボル・中心となるような建物	11
		バリアフリー、高齢者、障がい者に配慮した建物	10
		あまり華美ではなく極力シンプルなデザインの建物	6
		既存建築を活用(大学・ビルの空室等)した建物	4
施設・機能に関する意見	93	立ち寄りたくなる機能(飲食、くつろぎなど)	19
		まちの活性化に寄与するような機能	12
		使いやすさ・わかりやすさに配慮	10
		市民に開かれた場・市民のための交流の場	10
		駐車場の拡充	8
		他の公共施設等との連携	6
		行政機能以外は不要	5
		子ども・乳幼児向けの機能	2
		プライバシーに配慮した窓口	1
		その他、希望する機能・施設に関する意見	20
立地に関する意見	45	現在の位置・中央地区	14
		防災・安全性へ配慮した立地	10
		中央地区以外	9
		交通アクセスのよい立地	7
		その他、立地に関する意見	5
計画全般に対する意見	49	まちの将来像を見据えた計画とすること	26
		建替は不要ではないか	11
		市民参加・市民意見を反映すること	6
		楽しみ・期待している	5
		透明性に配慮、定期的に情報提供すること	1
職員に関する意見	19	職員の対応改善・人材の教育	9
		職員の労働環境の改善・働きやすさ	8
		職員の希望を取り入れた計画	2
その他	23	特になし	11
		その他	12

## V. 資料編

### (3) アンケート調査票

アンケート調査で使用了調査票を次ページに示します。

## 稚内市庁舎建設基本構想の策定に係る市民アンケートについて

日頃から市政運営に対するご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。

市役所本庁舎は昭和 42 年に建設されて以来既に 50 年以上が経過し、外壁や各種設備の老朽化が進んでおります。平成 23 年 12 月に実施した庁舎耐震調査では、「震度 6 以上の地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い」と診断され、新たな耐震基準を満たさず、これからの市役所庁舎に求められる様々な視点から、庁舎整備に向けた取り組みを進めています。

これまで、庁舎整備に向けて、関係担当部署の職員によるプロジェクトチームにおいて調査を行うとともに、専門的な知見を有する学識経験者の視点を加えて、今後の庁舎整備の方針決定の参考とするための検討を進めてきました。

その検討結果を踏まえて、市民の皆さんを対象とした市民説明会を開催し、庁舎の更新手法としては、現庁舎の課題対応、庁舎に求められる機能・役割、更新コストなどから「建て替え」、庁舎の整備地区は、歴史をふまえたまちづくりの経緯、高齢者や観光客に配慮した交通アクセス性、交流施設、事業所の集積度などから「中央地区」として、庁舎整備に対する基本的な方向性について決定したところです。

今後は、これからの市役所庁舎に求められる様々な視点から庁舎整備の検討を進めるため、基本構想を策定するにあたり市民の皆さんのご意見をお聞きするためのアンケート調査を実施することと致しました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

調査の実施にあたっては、稚内市が住民基本台帳から 18 歳以上の市民 2,000 人を無作為に選ばせていただきました。調査結果については、統計的に処理し集計結果のみを使用するもので、市民の皆さんにご迷惑をおかけすることは、一切ございません。

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答項目が用意されている質問では、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。  
「あてはまるものを 1 項目」、「あてはまるものをすべて」など○をつける数に指定のある質問では、それぞれの質問で指定された数にご注意ください。
2. その他回答のしかたに指定がある質問では、その指定の方法で回答をお願いします。
3. 「その他」の項目を選択された場合は、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
4. 記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、  
**12月20日（金）まで**にポストにご投函ください。
5. お問い合わせ先

本アンケートについてご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。  
稚内市まちづくり政策部地方創生課計画経営グループ 担当 石井 0162-23-6187  
(アンケート調査委託者：株式会社北海道日建設計 担当 星野 011-241-9438)



◆あなたが稚内市役所を訪れたときのことについてお伺いします。

【問5】 あなたがこの1年で中央地区を訪れた際に、目的となった主な施設はどこですか。次の中からあてはまるものを3項目まで選んで、番号を○で囲んでください。

- |           |                   |           |
|-----------|-------------------|-----------|
| 1. 郵便局    | 2. 金融機関（郵便局を除く）   | 3. 医療機関   |
| 4. 文化センター | 5. キタカラ（稚内駅・映画館等） | 6. 保健センター |
| 7. 商工会議所  | 8. フェリーターミナル      | 9. 温水プール  |
| 10. 中央商店街 | 11. 市役所           |           |
| 12. その他（  |                   | ）         |

【問6】 あなたはこの1年で市役所を訪れたことはありますか。次の中からあてはまるものを1項目選んで、番号を○で囲んでください。

1. ある ⇒【問7】に進んでください。
2. ない ⇒【問12】に進んでください。

【問7】 どのくらいの頻度で市役所を訪れていましたか。次の中からあてはまるものを1項目選んで、番号を○で囲んでください。

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日     | 2. 週に2、3回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に1、2回程度 | 5. 年に5、6回程度 | 6. 年に数回   |
| 7. その他（     |             | ）         |

【問8】 市役所を訪れた際、他に立ち寄られた場所がありますか。次の中から主な立ち寄り先としてあてはまるものを3項目まで選んで、番号を○で囲んでください。

- |           |                   |           |
|-----------|-------------------|-----------|
| 1. 郵便局    | 2. 金融機関（郵便局を除く）   | 3. 医療機関   |
| 4. 文化センター | 5. キタカラ（稚内駅・映画館等） | 6. 保健センター |
| 7. 商工会議所  | 8. フェリーターミナル      | 9. 温水プール  |
| 10. 中央商店街 |                   |           |
| 11. その他（  |                   | ）         |

【問 9】 どのような用件で市役所を訪れましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 戸籍・住民票等に関する事       | 2. 国民健康保険・国民年金に関する事 |
| 3. 市営住宅に関する事          | 4. 税金に関する事          |
| 5. 福祉に関する事            | 6. 教育に関する事          |
| 7. 環境に関する事（上下水道、ごみなど） |                     |
| 8. 農業、漁業に関する事         | 9. 商工、観光に関する事       |
| 10. 起業に関する事           | 11. 町内会や地域に関する事     |
| 12. 議会等の傍聴            | 13. 会議、説明会、打合せ      |
| 14. 仕事や業務             | 15. ATM利用のため        |
| 16. 市民交流・イベント等への参加    |                     |
| 17. その他（具体的に          |                     |

)

【問 10】 市役所を訪れた際に、一番利用された主な交通手段を、次の中からあてはまるものを1項目選んで、番号を○で囲んでください。

- |         |        |       |         |
|---------|--------|-------|---------|
| 1. 自家用車 | 2. JR  | 3. バス | 4. タクシー |
| 5. バイク  | 6. 自転車 | 7. 徒歩 |         |
| 8. その他（ |        |       |         |

)

【問 11】 市役所を訪れた際に、施設面や環境面で不満・不便を感じたことについて、次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。

1. 駐車場・駐輪場が足りない
2. 行きたい部署がどこにあるかわからない
3. 一つの窓口で用件が済まず、何か所も回らなければならない
4. 待合スペースや通路が狭い
5. トイレの場所がわかりづらい
6. 窓口・相談室などのプライバシーの配慮が足りない
7. 授乳室、ベビーベッドなど乳幼児に対する設備が足りない
8. 階段や段差が多く、高齢者・障がい者への配慮が足りない（バリアフリー対応）
9. 庁舎内が寒い・暑い・照明が暗いなど、設備対応が不十分である
10. 市民が自主的に会議や打合せ等で利用できる場所がない
11. 友人などと時間を過ごせる場所（カフェ、食堂など）がない
12. 気軽に休憩できる場所がない
13. バスなどの交通の便が悪い
14. 周辺の公共施設等と離れており利用しづらい
15. 特に不満や不便を感じたことはない
16. その他困ったこと（

)

◆**庁舎整備にあたりまして、必要な考え方をお伺いします。**

【問 1 2】 庁舎整備にあたり、位置づけ・役割として重要視することは何ですか。次の中からあてはまるものを **3 項目まで** 選んで、番号を○で囲んでください。

1. 災害時に災害対策本部として迅速な対応ができる防災拠点であること
2. 将来的な人口減少を踏まえた経済性に優れたコンパクトな庁舎であること
3. 市民による様々な交流ができる庁舎であること
4. 誰もが利用しやすい高い利便性を備えた庁舎であること
5. 周辺ににぎわいを創り出し、稚内市のまちづくりに寄与すること
6. 周辺の街並みや景観と調和すること
7. 省エネルギーなど地球環境にやさしい建物であること
8. 建設・維持管理のコストを抑制すること
9. まちのシンボルとなるようなすぐれたデザインの建物であること
10. その他 ( )

【問 1 3】 庁舎整備にあたり、加えたい機能はありますか。次の中から **10 項目まで** 選んで、番号を○で囲んでください。

- |                                |                                    |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. 災害に強い建物の構造                  | 16. 物産展示などができる多目的空間                |
| 2. 災害時の一時避難スペース                | 17. 観光インフォメーションコーナー                |
| 3. 災害時も庁舎機能を維持できる<br>非常用発電や備蓄品 | 18. 新規ビジネスや産業に関する相談が<br>できる窓口      |
| 4. 人口減少を見越した必要最低限の<br>機能・空間の確保 | 19. 稚内市の豊かな自然や海を眺める<br>ことのできる屋上テラス |
| 5. コンパクトで移動しやすい通路空間            | 20. わかりやすい総合案内の充実<br>(総合受付、案内人など)  |
| 6. 稚内市のまちづくりと調和した<br>建物のデザイン   | 21. 子育て支援スペース<br>(キッズスペース・授乳室など)   |
| 7. 庁舎の位置がどこからでも<br>わかるランドマーク   | 22. 多目的トイレ                         |
| 8. 環境性能の高い建材の活用                | 23. コンビニ・売店など                      |
| 9. 太陽光・風力等の自然エネルギーの<br>積極的な利用  | 24. エレベーター等、バリアフリー機能               |
| 10. 自然採光・自然換気などの導入             | 25. 十分な規模の駐車場・駐輪場                  |
| 11. 市民の交流・活動スペース               | 26. A T Mコーナー                      |
| 12. 飲食スペース (カフェ、食堂など)          | 27. 市民が気軽に利用できる<br>憩いのスペース         |
| 13. 図書コーナー (ミニ図書館)             | 28. その他                            |
| 14. 行政や議会の情報公開コーナー             | ( )                                |
| 15. 屋外のイベントスペース                |                                    |

【問 1 4】 今後の庁舎建設基本構想・計画の策定にあたり、その他、自由なご意見、ご提案をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
返信用封筒へ入れ、2019年（令和元年）12月20日（金）までに  
郵便ポストへご投函ください。**

## V. 資料編

### **3. 第1回市民ワークショップの結果について**

第1回市民ワークショップの結果を次ページに示します。

## V. 資料編

### 第1回 市民ワークショップ

新庁舎について市民ワークショップを行いました。

#### (1) 概要

- ・開催日時：令和元年12月18日（水）16時～17時30分
- ・開催場所：稚内市役所 5階 正庁
- ・参加者：高校生（2校8名）、信用金庫職員（4名）、商工会議所青年部（1名）、青年会議所（1名）、中央商店街振興組合（2名）、福祉協議会、町内会連絡協議会職員（2名）、市職員（4名）  
計22名  
→6名×2班、5名×2班（A～D班+各班に一名ずつ進行・司会）

#### (2) ディスカッションのテーマ

- ・テーマ1：新庁舎にほしい機能  
…現庁舎を見学し、課題や現状を把握した上で新庁舎にほしい機能を意見交換
- ・テーマ2：新庁舎とまちとの関係  
…新庁舎が稚内市や中央地区にとってどんな役割を果たすべきかを意見交換

#### (3) 当日のタイムスケジュール

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 1. あいさつ                | 16:00～ |
| 2. 稚内市役所 現況・課題の説明      | 16:05～ |
| 3. 稚内市役所 見学            | 16:15～ |
| 4. ディスカッション            |        |
| 市庁舎の事例説明・テーマ説明         | 16:35～ |
| テーマ1：新庁舎にほしい機能         | 16:45～ |
| テーマ2：新庁舎とまちとの関係        | 17:05～ |
| <休憩>                   | 17:25～ |
| ディスカッション発表（5min×4テーブル） | 17:30～ |
| 5. 今後の予定               | 17:50～ |

## V. 資料編

### ■ディスカッションの結果

各班でテーマを中心にディスカッションを行い、意見を分類して整理しました。

A班での意見	
<p><b>テーマ1：新庁舎にほしい機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化している総合福祉センターとの複合化</li><li>・庁舎に観光協会の機能</li><li>・庁舎は行政機能の中心</li></ul> <p>⇒<b>行政機能の集約・複合化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・打合せできるスペース</li><li>・図書館のような勉強等ができる公共的なスペース（図書館機能は不要）</li><li>・間仕切りを可動として、一体化したときは体育館などの大きなスペースになる空間</li><li>・人と人をつなぐ場としての機能</li><li>・人と待ち合わせできる場所</li></ul> <p>⇒<b>市民交流・活動できる機能の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ラウンドワンのような集客施設</li></ul> <p>⇒<b>集客施設との複合化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（（現庁舎の見学を通じて）食堂が現庁舎の5階にあると知らなかった。1階に配置して気軽に利用できるようにするとよいのではないか。）</li></ul> <p>購入した軽食を食べるスペース</p> <p>⇒<b>利便性を向上する機能の配置</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災の拠点機能を整える必要</li><li>・ハザードマップを考慮し、津波・土砂災害からの逃げ場が必要</li><li>・市役所で一時避難者を受け入れられるなど、災害発生時の拠点</li><li>・イベントに使用することができる全天候型の広場。防災機能としても利用可能</li></ul> <p>⇒<b>防災拠点となる機能の整備</b></p> <p><b>テーマ2：新庁舎とまちとの関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・キタカラと新しい庁舎をつなぐ（商店街を通り抜けるなど）</li></ul> <p>⇒<b>キタカラとの連携・役割分担</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・イルミネーションなどの催しでまちへの集客</li><li>・商店街の南側にも人の流れ</li></ul> <p>⇒<b>人で賑わうまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大規模ショッピングセンターなどが出来て、庁舎と連携</li></ul> <p>⇒<b>商店街との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・庁舎の印象がない</li><li>・過去の商店街は人と人の方がぶつかるぐらいの賑わい</li></ul> <p>⇒<b>稚内市の顔となりまちを活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・駐車場が不足しているので、中央地区全体で考えるべき</li></ul> <p>⇒<b>中央地区の駐車場不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コンパクトなまちで、大きなインパクト</li></ul> <p>⇒<b>コンパクトなまちづくり</b></p>

B班での意見	
<p><b><u>新庁舎のありかたについて</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎に人が来てもらいたい</li> <li>・ 開かれた庁舎にしてほしい</li> </ul> <p>⇒<b>人の集まる庁舎にしてほしい</b></p> <p><b><u>テーマ1：新庁舎にほしい機能</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館の利便性悪い</li> <li>・ 体育館に隣接</li> <li>・ 活動が見えるミニスタジオなど</li> </ul> <p>⇒<b>体育館の利便性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供と一緒に遊びに行く所が無い</li> <li>・ キタカラの2Fにある子どもと大人のフリースペース</li> </ul> <p>⇒<b>親子の交流、子育て世代が安心できる場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街のアンケートでは、小さい子の遊び場はあるが、中高生の遊び場がない</li> <li>・ 図書館とは異なる高校生の勉強する場</li> </ul> <p>⇒<b>中高生が気になる場所、行く場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業支援の場</li> <li>・ ビジネス体験・チャレンジができる場所</li> <li>・ 高校生のチャレンジできる場所 (例：市役所の食堂を高校生が行う、高校生がお店を開く、稚内ブランドの食堂を開く)</li> </ul> <p>⇒<b>ビジネス体験・起業支援の場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常用発電機の配備</li> </ul> <p>⇒<b>防災拠点となる機能の整備</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペースの有効活用(駐車場を屋上にするなど)</li> <li>・ できるだけ平屋でアクセス性向上</li> </ul> <p>⇒<b>コンパクトな庁舎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階に窓口を集約しバリアフリー化(現状いろいろな場所に行かされる)</li> </ul> <p>⇒<b>ワンストップサービス窓口の整備</b></p> <p><b><u>テーマ2：新庁舎とまちとの関係</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フリーマーケットやイベント、祭りなどの開催</li> <li>・ 中間世代が活動できる場所</li> </ul> <p>⇒<b>人で賑わうまち</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ “健康”商店街</li> <li>・ 商店街が市役所に入る</li> <li>・ 駐車場の位置を商店街側に寄せる</li> </ul> <p>⇒<b>商店街との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キタカラとつながる取り組み</li> </ul> <p>⇒<b>キタカラとの連携・役割分担</b></p>

C班での意見	
<p><b>現庁舎のイメージ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱や荷物が多く、スペース効率化が必要</li> <li>・暗い、冷たい</li> <li>・廊下が狭い</li> <li>・テーマカラーを設定することによる開放感</li> <li>・課ごとのデザインの統一</li> <li>・音楽を流し、プライバシーに配慮するとともに、雰囲気明るく</li> </ul> <p>⇒<b>イメージ・雰囲気の改善</b></p> <p><b>テーマ1：新庁舎にほしい機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫感が少ない窓口</li> <li>・明るい窓口</li> <li>・プライバシーに配慮</li> </ul> <p>⇒<b>利用しやすい雰囲気の窓口</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい窓口</li> <li>・ワンストップサービス</li> </ul> <p>⇒<b>ワンストップサービス窓口の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稚内保健福祉センターと庁舎の複合化</li> </ul> <p>⇒<b>行政機能の集約・複合化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の交流の場</li> </ul> <p>⇒<b>親子の交流、子育て世代が安心できる場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアが分かりにくい→階段にサイン</li> </ul> <p>⇒<b>わかりやすいサインの設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的トイレが必要</li> </ul> <p>⇒<b>多目的トイレの設置</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合展示場</li> <li>・玄関に市の情報発信スペース</li> <li>・名産品・物販スペース</li> <li>・SNSの活用</li> </ul> <p>⇒<b>稚内市をアピールする庁舎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎ならではの交流機能</li> <li>・ロビーに休憩スペース</li> <li>・企業・経済等について大人と若者が話し合うことができるスペース</li> <li>・稚内市民の活動拠点</li> <li>・市民活動拠点となる場所</li> </ul> <p>⇒<b>市民交流・活動できる機能の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い防災広場</li> </ul> <p>⇒<b>防災拠点となる機能の整備</b></p> <p><b>テーマ2：新庁舎とまちとの関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎整備においてもまちづくりを考える必要</li> </ul> <p>⇒<b>まちづくりを考えようで庁舎整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キタカラとの連携</li> <li>・キタカラで中央商店街の発信をする必要</li> <li>・キタカラと異なる魅力</li> <li>・市役所は市民のための場に (観光客向けのコンテンツはキタカラに)</li> </ul> <p>⇒<b>キタカラとの連携・役割分担</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所を商店街内に持ってきて、中を通り抜け</li> </ul> <p>⇒<b>商店街との連携</b></p>

D班での意見	
<p><b>テーマ1：新庁舎にほしい機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジム（健康推進）</li> <li>⇒<b>集客施設との複合化</b></li> <li>・食堂</li> <li>・薬局やその他の特色ある商品を置いている店</li> <li>・コンビニ</li> <li>⇒<b>利便性を向上する機能の配置</b></li> <li>・市民が使えるスペース（町内会館がない）</li> <li>・貸し会議室</li> <li>・高齢者・子育て世代の人が立ち寄れる場所</li> <li>・勉強スペース（講習などを開催）</li> <li>・多目的に使うことができる、広い駐車スペース</li> <li>⇒<b>市民交流・活動できる機能の整備</b></li> <li>・災害時の備品庫（キタカラとの役割分担は必要）</li> <li>⇒<b>防災拠点となる機能の整備</b></li> </ul>	<p><b>テーマ2：新庁舎とまちとの関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーや庁舎前の広場等の人目に付く場所でのイベントの開催</li> <li>⇒<b>庁舎でのイベント開催</b></li> <li>・冬場の庁舎への行き易さ</li> <li>・庁舎へアクセスする道路のバリアフリー化</li> <li>⇒<b>庁舎へのアクセスを快適に</b></li> <li>・キタカラと庁舎間の商店街ににぎわい</li> <li>⇒<b>人で賑わうまち</b></li> <li>・病院・銀行・市役所の集約</li> <li>⇒<b>行政・市民サービスの集約</b></li> <li>・中高生が遊ぶ・過ごす場所</li> <li>・休んだり、家族友人と過ごす場所</li> <li>⇒<b>まちなかに中高生が気になる場所、行く場所</b></li> </ul>

## V. 資料編

### ■ディスカッションの意見まとめ

ディスカッションの結果、2つのテーマに加えて「新庁舎のありかたについて」と「現庁舎のイメージ」についても意見交換が行われました。

以下 5 点について意見を整理し、基本構想への反映の仕方や今後の検討内容について整理します。

- ①新庁舎のありかたについて
- ②現庁舎のイメージ
- ③新庁舎にほしい機能
- ④新庁舎とまちとの関係
- ⑤その他の意見

#### ①新庁舎のありかたについて

- ・ 庁舎に人が来てもらいたい
  - ・ 開かれた庁舎にしてほしい
- ⇒人の集まる庁舎にしてほしい

#### ②現庁舎のイメージ

- ・ 箱や荷物が多く、スペース効率化が必要
- ・ 暗い、冷たい
- ・ 廊下が狭い
- ・ テーマカラーを設定することによる開放感
- ・ 課ごとのデザインの統一
- ・ 音楽を流し、プライバシーに配慮するとともに、雰囲気明るく

⇒イメージ・雰囲気の改善

## V. 資料編

③新庁舎に欲しい機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している総合福祉センターとの複合化</li> <li>・庁舎に観光協会の機能</li> <li>・庁舎は行政機能の中心</li> <li>・稚内保健福祉センターと庁舎の複合化</li> </ul> <p>⇒<b>行政機能の集約・複合化</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫感が少ない窓口</li> <li>・明るい窓口</li> <li>・プライバシーに配慮</li> </ul> <p>⇒<b>利用しやすい雰囲気</b>の窓口</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階に窓口を集約しバリアフリー化（現状いろいろな場所に行かされる）</li> <li>・分かりやすい窓口</li> <li>・ワンストップサービス</li> </ul> <p>⇒<b>ワンストップサービス</b>窓口の整備</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供と一緒に遊びに行く所が無い</li> <li>・親子の交流の場</li> <li>・キタカラの2Fにある子どもと大人のフリースペース</li> </ul> <p>⇒<b>親子の交流、子育て世代が安心できる場所</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せできるスペース・貸し会議室</li> <li>・人と人をつなぐ場としての機能</li> <li>・人と待ち合わせできる場所</li> <li>・ロビーに休憩スペース</li> <li>・稚内市民の活動拠点</li> <li>・市民活動拠点となる場所</li> <li>・庁舎ならではの交流機能</li> <li>・市民が使えるスペース（町内会館がない）</li> <li>・図書館のような勉強等ができる公共的なスペース（講習などを開催）</li> <li>・間仕切りを可動として、一体化したときは体育館などの大きなスペースになる空間</li> <li>・企業・経済等について大人と若者が話し合うことができるスペース</li> <li>・高齢者・子育て世代の人が立ち寄れる場所</li> <li>・多目的に使うことができる、広い駐車スペース</li> </ul> <p>⇒<b>市民交流・活動できる機能</b>の整備</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の拠点機能を整える必要</li> <li>・非常用発電機の配備</li> <li>・災害時の備品庫（キタカラとの役割分担は必要）</li> <li>・ハザードマップを考慮し、津波・土砂災害からの逃げ場が必要</li> <li>・市役所で一時避難者を受け入れられるなど、災害発生時の拠点</li> <li>・イベントに使用することができる全天候型の広場。防災機能としても利用可能</li> <li>・広い防災広場</li> </ul> <p>⇒<b>防災拠点となる機能</b>の整備</p>

## V. 資料編

③新庁舎に欲しい機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街のアンケートでは、小さい子の遊び場はあるが、中高生の遊び場がない</li> <li>・ 図書館とは異なる高校生の勉強する場</li> </ul> <p>⇒<b>中高生が気になる場所、行く場所</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業支援の場</li> <li>・ ビジネス体験・チャレンジができる場所</li> <li>・ 高校生のチャレンジできる場所（例：市役所の食堂を高校生が行う、高校生がお店を開く、稚内ブランドの食堂を開く）</li> </ul> <p>⇒<b>ビジネス体験・起業支援の場</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フロアが分かりにくい→階段にサイン</li> </ul> <p>⇒<b>わかりやすいサインの設置</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多目的トイレが必要</li> </ul> <p>⇒<b>多目的トイレの設置</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合展示場</li> <li>・ 玄関に市の情報発信スペース</li> <li>・ 名産品・物販スペース</li> <li>・ SNS の活用</li> </ul> <p>⇒<b>稚内市をアピールする庁舎</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペースの有効活用（駐車場を屋上にするなど）</li> <li>・ できるだけ平屋でアクセス性向上</li> </ul> <p>⇒<b>コンパクトな庁舎</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラウンドワンのような集客施設</li> <li>・ ジム（健康推進）</li> <li>・ ((現庁舎の見学を通じて) 食堂が現庁舎の 5 階にあると知らなかった。1 階に配置して気軽に利用できるようにするとよいのではないか。) 購入した軽食を食べるスペース</li> <li>・ 食堂</li> <li>・ 薬局やその他の特色ある商品を置いている店</li> <li>・ コンビニ</li> </ul> <p>⇒<b>集客施設との複合化 利便性を向上する機能</b></p>

## V. 資料編

<b>④ 庁舎とまちとの関係性</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イルミネーションなどの催しでまちへの集客</li> <li>・商店街の南側にも人の流れが欲しい</li> <li>・キタカラと庁舎間の商店街ににぎわい</li> <li>・フリーマーケットやイベント、祭りなどの開催</li> <li>・中間世代が活動できる場所</li> <li>・大規模ショッピングセンターなどが出来て、庁舎と連携</li> <li>・“健康”商店街</li> <li>・商店街が市役所に入る</li> <li>・駐車場の位置を商店街側に寄せる</li> <li>・市役所を商店街内に持ってきて、中を通り抜け</li> <li>・庁舎の印象がない</li> <li>・過去の商店街は人と人の方がぶつかるぐらいの賑わい</li> </ul>	<p>⇒<b>人で賑わうまち</b>  <b>商店街との連携</b>  <b>稚内市の顔となりまちを活性化</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーや庁舎前の広場等の人目に付く場所でのイベントの開催</li> </ul>	<p>⇒<b>庁舎でのイベント開催</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎整備においてもまちづくりを考える必要</li> </ul>	<p>⇒<b>まちづくりを考えたいで庁舎整備</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キタカラと新しい庁舎をつなぐ（商店街を通り抜けるなど）</li> <li>・キタカラとつながる取り組み</li> <li>・キタカラとの連携</li> <li>・キタカラと異なる魅力</li> <li>・キタカラで中央商店街の発信をする必要</li> <li>・市役所は市民のための場に（観光客向けのコンテンツはキタカラに）</li> </ul>	<p>⇒<b>キタカラとの連携・役割分担</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・銀行・市役所の集約</li> <li>・コンパクトなまちで、大きなインパクト</li> </ul>	<p>⇒<b>行政・市民サービスの集約</b>  <b>コンパクトなまちづくり</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の庁舎への行き易さ</li> <li>・庁舎へアクセスする道路のバリアフリー化</li> </ul>	<p>⇒<b>庁舎へのアクセスを快適に</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が不足しているので、中央地区全体で考えるべき</li> </ul>	<p>⇒<b>中央地区の駐車場不足</b></p>
<b>⑤ その他の意見</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の利便性悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館に隣接</li> <li>・活動が見えるミニスタジアムなど</li> </ul>
<p>⇒<b>体育館の利便性向上</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生が遊ぶ・過ごす場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休んだり、家族友人と過ごす場所</li> </ul>
<p>⇒<b>まちなかに中高生が気になる場所、行く場所</b></p>	

## V. 資料編

### 4. 駐車場の算定について

#### (1) 来庁者用駐車場の算定

来庁者用駐車場台数は、「市・区・町・役所の窓口事務施設の調査」及び「最大滞留量の近似的計算方法」により算定します。

##### □現在の駐車場台数

来庁者用駐車場	38台（うち身障者用 4台）
稚内総合文化センター用駐車場	52台（うち身障者用 2台）
合計	90台（うち身障者用 6台）

##### □算定条件

○人口	: 30,000人（令和7年の想定人口）
○来庁者割合	: 窓口・・・・・・・・・・0.9% 窓口以外・・・・・・・・・・0.6% ※「市・区・町・役所の窓口事務施設の調査」より
○車での来庁割合	: 80%
○集中度	: 30% ※「最大滞留量の近似的計算方法」により
○窓口部門の平均滞留時間	: 15分（仮定値）
○窓口部門以外の平均滞留時間	: 40分（仮定値）

##### □1日当たりの来庁台数・必要駐車場台数

○1日当たりの来庁台数	= 稚内市人口 × 来庁者割合 × 車での来庁割合
・窓口来庁台数	= 30,000人 × 0.9% × 80% ≒ 216台
・窓口以外来庁台数	= 30,000人 × 0.6% × 80% ≒ 144台
○必要駐車場台数	= 1日当たりの来庁台数 × 集中度 × 平均滞留時間
・窓口必要駐車場台数	= 216台 × 30% × 15分/60分 ≒ 17台
・窓口以外必要駐車場台数	= 144台 × 30% × 40分/60分 ≒ 29台
	<b>合計 46台</b>

## V. 資料編

### **(2) 来庁者用駐車場の台数**

来庁者用駐車場の算定では 46 台が必要台数とされていますが、人口減少に伴う来庁者数の減少、稚内総合文化センター駐車場との効率の良い利用で、現在の来庁者駐車場台数(38 台)を目安に整備を進めます。

### **(3) 公用車用駐車場の台数**

現在 56 台(マイクロバス 2 台含)の公用車を保有しており、今後は保有台数を縮小させていくことから、概ね 50 台程度の駐車場台数が必要となります。

## V. 資料編

### 5. 現庁舎周辺の公共施設の概要

庁舎周辺に位置する公共施設の概要を次に整理します。

#### (1) 稚内市保健福祉センター

○稚内市保健福祉センターの現況

建設年次	平成9年
階数	地上4階建て
構造種別	R C造
建築面積	1,091.47 m <sup>2</sup>
延床面積	2,748.84 m <sup>2</sup>
敷地面積	3,457.10 m <sup>2</sup>

#### (2) 稚内総合文化センター

○稚内総合文化センターの現況

建設年次	昭和59年
階数	地上3階建て
構造種別	鉄骨鉄筋コンクリート造
建築面積	04,214.7 m <sup>2</sup>
延床面積	06,084.2 m <sup>2</sup>
敷地面積	10,182.2 m <sup>2</sup>

#### (3) 市立稚内病院

○市立稚内病院の現況

建設年次	昭和59年
階数	地上7階、地下1階建て
構造種別	鉄骨鉄筋コンクリート造
建築面積	04,510.67 m <sup>2</sup>
延床面積	15,482.83 m <sup>2</sup>
敷地面積	9,984.03 m <sup>2</sup>

## V. 資料編

### 6. 発注方式の比較

発注方式について、基本計画において他の方式の導入の可能性を含めて検討します。現段階で想定される発注方式の概要を次表に整理します。

	概要
設計施工 分離発注方式 (従来方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政が施設の設計や施工の発注を行い、施設の竣工後に行政が運営するという従来から多く行われてきた公共事業の方式。</li> <li>・ 行政が資金の調達を行う。</li> <li>・ 民間事業者の創意工夫が得られにくい。</li> </ul>
公共工事の品質確保の促進に関する法律による方式	
設計施工一 括発注方式 (DB方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工者等が有する特別な設計・施工技術を活用することが適した工事を対象として、施設の性能やスペックをまとめた仕様等に基づき設計案を公募し、価格のみの競争又は総合的な評価により決定された施工者に、設計 (Design) ・ 施工 (Build) を一括して発注する方式。</li> <li>・ 行政が資金の調達を行う。</li> <li>・ 施工者のノウハウを反映した設計や、施工者の固有技術を活用した設計が可能となり、施工期間や工事費の縮減等が可能となる一方、施工者側に偏った設計になりやすくなる。</li> </ul>
実施設計・施 工一括発注 方式 (実施設計 DB方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計施工一括発注方式 (DB方式) の一種であり、実施設計と施工を一緒に発注する方式。</li> <li>・ 行政が資金の調達を行う。</li> <li>・ 設計者が行政の求める施設の性能やスペックを基本設計でまとめた後、実施設計と施工を価格のみの競争又は総合的な評価により同一の施工者に発注する方式。</li> <li>・ 施工者のノウハウを反映した設計や、施工者の固有技術を活用した設計が可能となり、施工期間や工事費の縮減等が可能となる一方、施工者側に偏った設計になりやすくなる。</li> </ul>
技術協力・交 渉方式 (ECI 方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね従来方式と同じだが、設計段階から施工者が技術協力者として参画し、施工を前提として設計に対する技術提案を行う方式。</li> <li>・ 行政が資金の調達を行う。</li> <li>・ 特殊な施工技術を活用する際に適している。</li> <li>・ 技術協力者と設計者間の調整に難航してしまう可能性がある。</li> </ul>

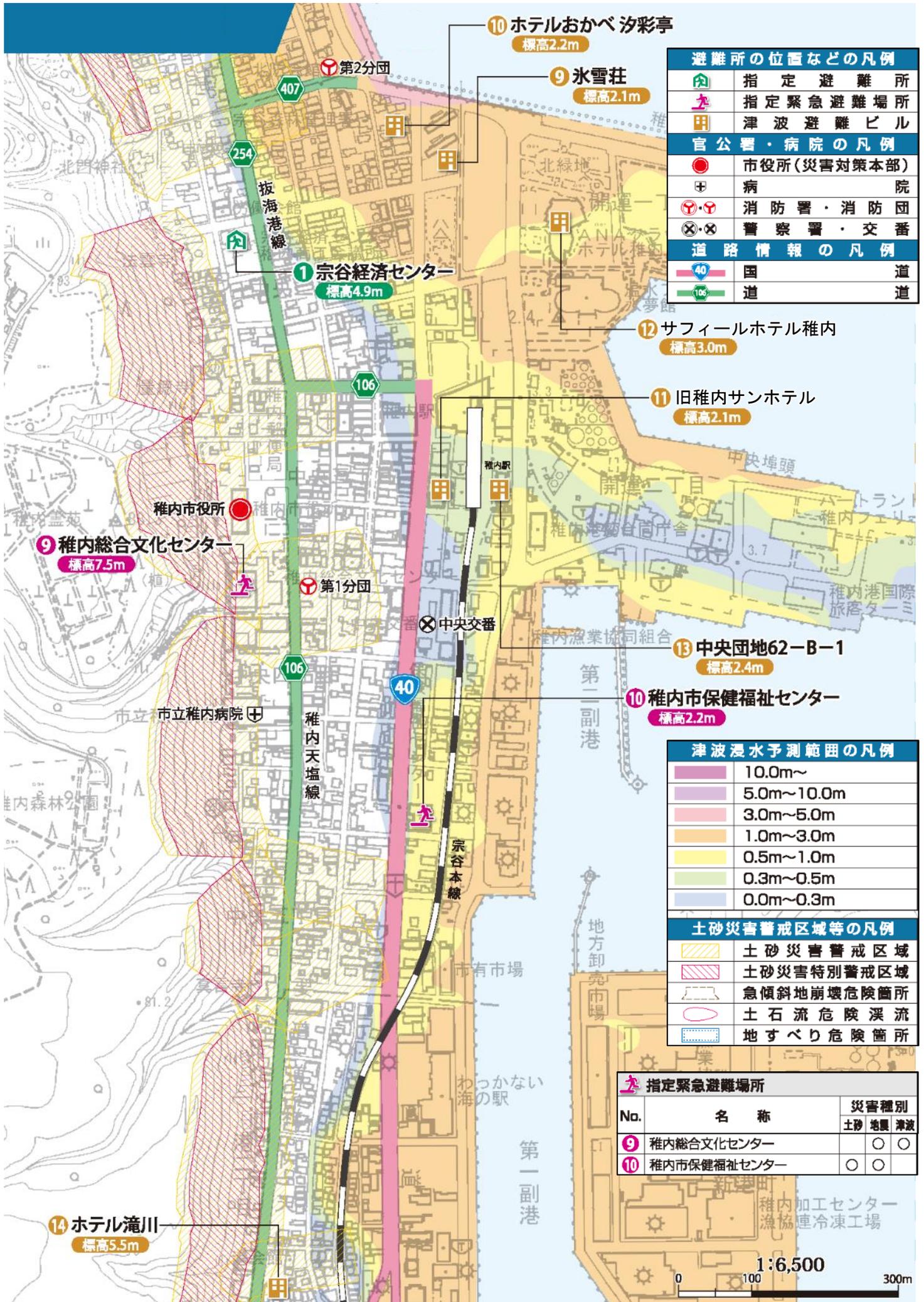
## V. 資料編

PFI 方式	
BTO 方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の資金及びノウハウを活かして公共事業を行う方式。サービス購入型などにより支出の平準化が期待できる。</li> <li>・BTO 方式 (Build Transfer Operate) は、PFI 法に基づき民間事業者が施設の設計施工 (Build) を行い、施設を行政側に譲渡 (Transfer) した後、施設の運営、維持管理 (Operate) を民間事業者が行う方式。</li> <li>・民間事業者が資金の調達を行い、事業期間に渡り分割して民間事業者に整備費を支払う。</li> <li>・施設が行政の公有財産となることから、民間事業者の運営上の自由度が低く、また、導入可能性 (コスト削減効果などの有無) 調査・事業者選定・契約手続きが複雑であり、時間と一定の費用がかかる。</li> </ul>
BOT 方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には BTO 方式と同じであるが、BOT 方式 (Build Operate Transfer) は、PFI 法に基づき民間事業者が施設の設計施工 (Build) を行い、その施設の運営、維持管理 (Operate) を一定期間 (一般的には 20 年程度) 行ったのち、行政側に譲渡 (Transfer) する方式。</li> </ul>
リース方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リース事業者が資金の調達、設計・施工を行い、施設を所有する。その際に、市と民間事業者がリース契約を締結し、リース料を事業期間にわたり支払う方式。</li> <li>・PFI 方式に比べて手続きが簡素となる。</li> <li>・リース期間中、庁舎の所有者はリース事業者となるため、リース事業者の財務状況に左右される場合がある。</li> </ul>

## V. 資料編

### 7. 中央地区のハザードマップ

中央地区で指定されている津波浸水想定区域、指定避難所、土砂災害警戒区域などを掲載しているハザードマップを次ページに示します。



避難所の位置などの凡例	
	指定避難所
	指定緊急避難場所
	津波避難ビル
官公署・病院の凡例	
	市役所(災害対策本部)
	病院
	消防署・消防団
	警察署・交番
道路情報の凡例	
	国道
	道道

津波浸水予測範囲の凡例	
	10.0m~
	5.0m~10.0m
	3.0m~5.0m
	1.0m~3.0m
	0.5m~1.0m
	0.3m~0.5m
	0.0m~0.3m

土砂災害警戒区域等の凡例	
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	土石流危険渓流
	地すべり危険箇所

指定緊急避難場所		
No.	名称	災害種別 土砂 地震 津波
9	稚内総合文化センター	○ ○ ○
10	稚内市保健福祉センター	○ ○ ○

1:6,500  
0 100 300m